

第19回白馬村地域公共交通会議

H27.10.14

資料

**平成27年度**

**ナイトシャトルバス「元気号」運行計画（案）**

**平成27年10月**

**白馬村**

## 平成 27 年度ナイトシャトルバス「元気号」運行計画（案） 目次

I. 白馬村地域公共交通 観光交通システム検討委員会の開催	1
II. 運行計画（案）	3
III. 運行内容の比較	6
IV. 利用促進計画（案）	8
V. 運行収支（案）	9

## I. 白馬村地域公共交通 観光交通システム検討委員会の開催

### 1. 設置目的

白馬村地域公共交通会議において協議する事項のうち、運行計画に関する調査検討を行う。

### 2. 掌握事項

白馬村が実施する住民輸送サービス等の運行計画策定について検討し、その結果を白馬村地域公共交通会議に報告する。

### 3. 委員構成（18名以内）

#### 白馬村地域公共交通観光交通システム検討委員会名簿

◎委員長

選出区分	所属・職名	氏名
住民代表	白馬村地域公共交通会議 委員（一般公募）	速水 政文
住民代表	白馬村地域公共交通会議 委員（一般公募）	渡邊 宏
住民代表	八方尾根観光協会 協会長	丸山 星郎
住民代表	和田野区 区長	渡辺 俊夫
住民代表	エコーランド区 区長	泉原 幸造
事業者	アルピコ交通株式会社 白馬営業所長	大口 秀英
事業者	有限会社白馬交通 代表取締役	遠藤 孝
観光団体	一般社団法人白馬村観光局 観光局長	北村 興二
観光団体	一般社団法人白馬村観光局 インバウンド専門委員長	和田 信治
観光団体	白馬ツーリズム 代表	塩島 眞一
行政機関	白馬村役場 観光課長	◎篠崎 孔一

### 4. 会議の開催

#### (1) 第1回白馬村地域公共交通 観光交通システム検討委員会

日時 平成27年5月22日（金） 午前10時00分から正午まで

場所 白馬村役場2階 庁議室

出席者 9名（検討委員：7名、事務局2名）

内容 ・2014-15 ナイトシャトルバス「元気号」の運行実績について  
・2015-16 ナイトシャトルバス「元気号」の運行について

#### 会議報告

##### ①2014-15 ナイトシャトルバス「元気号」の運行実績について

運行内容及び実績を白馬村が説明した。

##### ②2015-16 ナイトシャトルバス「元気号」の運行について

委員による意見交換会を実施した。

## 意見

### ①2014-15 ナイトシャトルバス「元気号」の運行実績について

- ・利用者数は 12,897 人（前年比+35.6%）と過去最高となった、特に2月の利用が大幅に増加（同+53.8%）した
- ・第1便が和田野を出発する時間帯を 17:00 台から 18:00 台へ変更したことにより、いずれのラインも利用者数が大幅に増加した、前シーズンに課題として指摘されていた「主に外国人観光客の外出時間にミスマッチ」を解消することができた

### ②2015-16 ナイトシャトルバス「元気号」の運行について

- ・これまでに運行ルートや時間帯については試行錯誤してきたが、前シーズンの利用実績をみるとようやく望ましい形になったと判断できる
- ・運行に関する主要な部分の変更は必要最小限にとどめ、村内飲食店が不足しているという課題に対して、交通面から検討を試みる

## 決定事項

### ②2015-16 ナイトシャトルバス「元気号」の運行について

- ・運行に関する主要な部分（期間、時間帯、ライン、停留所、運賃）は前シーズンと同様とし、変更は必要最小限とする

## (2)第2回白馬村地域公共交通 観光交通システム検討委員会

日 時 平成 27 年 10 月 2 日（金） 午前 10 時 00 分から正午まで

場 所 白馬村役場 2 階 庁議室

出席者 11 名（検討委員：7 名、事務局 4 名）

内 容 ・2015-16 ナイトシャトルバス「元気号」の運行について

## 会議報告

### ①2015-16 ナイトシャトルバス「元気号」の運行について

運行計画（案）を白馬村が説明した。

## 意見

### ①2015-16 ナイトシャトルバス「元気号」の運行について

- ・白馬村が示した運行計画（案）では、エコーランドの停留所は「エコーランド」となっている、この件について地域内で検討した結果、「エコーランド大通り」（英語表記：Echo-Land Street）がわかりやすく、望ましいということとなった
- ・アップルランド周辺には飲食店がいくつかあることから、北部エリアを運行するライン（グリーンライン、小谷ライン）には「アップルランド前」を追加するべきである
- ・白馬村が示した運行計画（案）では、小谷ラインの第1便が白馬八方バスターミナルを出発する計画であるが、この便が白馬村に到着する時間は 19:00 台である、利用者が到着する頃には飲食店が飽和状態であることから、第1便の出発は白馬コルチナとする方が望ましい
- ・加えて、運行に要する時間を試算してみないと判断できないが、小谷ラインはエコーランドまで延長するべきである

## 決定事項

### ①2015-16 ナイトシャトルバス「元気号」の運行について

- ・エコーランドの停留所名を「エコーランド」から「エコーランド大通り」（英語表記：Echo-Land Street）に変更する
- ・グリーンラインと小谷ラインに停留所「アップルランド前」を追加する
- ・小谷ラインについて、白馬コルチナ～白馬バスターミナルであったものを、白馬コルチナ～エコーランド大通りへ変更する（運行時間を試算した結果、延長できるものと判断）
- ・小谷ラインの第1便の始点を白馬コルチナに変更する、第1便は17時15分に白馬コルチナを出発し、エコーランド大通りには18時10分に到着し、この便は折り返し第2便として、18時30分にエコーランド大通りを出発し、白馬コルチナには19時25分に到着する
- ・白馬コルチナからの帰りの便は、第3便が21時00分に白馬コルチナを出発して白馬村方面を目指す、白馬コルチナでの滞留時間は1時間30分程度を確保する、エコーランド大通りからの帰りの便は、第4便が22時15分に出発して小谷村方面を目指す
- ・以上を変更し、運行計画（案）を作成する

## II. 運行計画（案）

### 1. 運行目的

項 目	運行計画の策定方針
(1) 運行目的	居住エリア又は宿泊エリアと飲食店及び商業施設を結ぶシャトルバス運行事業を実施することで、住民及び観光客の消費行動の促進を図り、もって村内商業地域の活性化に寄与することを目的とする。なお、運行計画の策定にあたっては、指摘事項を改善するとともに効率性を重視しながら、利用者の快適性と利便性の向上を図ることとする。

### 2. 運行方法

項 目	運行計画の策定方針
(1) 事業主体	白馬村、北アルプス三市村観光連絡会
(2) 運行主体	一般乗合旅客自動車運送事業者（10月下旬に業者を決定する予定）
(3) 運行方法	宿泊エリアと一般商店、飲食店、公共施設及び駅等を結ぶ定時定路線型のバスを運行する。

### 3. サービスレベル

項 目	運行計画の策定方針
(1) 利用対象者	住民及び観光客を対象とする。
(2) 運行ルート ※資料集 P. 2, 4, 6	■ブルーライン（主な経由地） 和田野（始点）～八方ゴンドラ～白馬八方バスターミナル（八方インフォメーションセンター）～ローソク白馬瑞穂～エコーランド大通り～ザ・ビッグ白馬店～JR 白馬駅～白馬八方バスターミナル（八方インフォメーションセンター）～八方ゴンドラ～和田野（終点）

<p>※資料集 P. 8, 10</p>	<p>■レッドライン（主な経由地） 和田野（始点）～八方ゴンドラ～白馬八方バスターミナル（八方インフォメーションセンター）～JR 白馬駅～ザ・ビッグ 白馬店～エコーランド 大通り～ローソン白馬瑞穂～白馬八方バスターミナル（八方インフォメーションセンター）～八方ゴンドラ～和田野（終点）</p> <p>■グリーンライン（主な経由地） 飯森ゲレンデ 下（始点・終点）～エスカプラザ～JR 神城駅～ザ・ビッグ 白馬店～JR 白馬駅～アップルランド 前～セブンイレブン白馬岩岳～白馬岩岳（新田）～白馬岩岳（切久保）～白馬八方バスターミナル（八方インフォメーションセンター）～ローソン白馬瑞穂～エコーランド 大通り～セブンイレブンみそら野～農かふえ（終点・始点）</p> <p>■大町ライン（主な経由地） 白馬八方バスターミナル（八方インフォメーションセンター）（始点・終点）～JR 白馬駅～JR 神城駅～大町市街～JR 信濃大町駅（終点・始点）</p> <p>■小谷ライン（主な経由地） 白馬コルナ（ホリグリーンプラザ 白馬）（終点・始点）～里見～白馬アルプスホテル～榎池高原～落倉～シェラポート白馬～白馬岩岳（切久保）～白馬岩岳（新田）～セブンイレブン白馬岩岳～アップルランド 前～JR 白馬駅～白馬八方バスターミナル（八方インフォメーションセンター）～ローソン白馬瑞穂～エコーランド 大通り（始点・終点）</p>
<p>(3) 運行期間</p>	<p>■ブルーライン・レッドライン・グリーンライン 平成 27 年 12 月 23 日（水）～平成 28 年 2 月 29 日（月）の毎日、69 日間</p> <p>■大町ライン・小谷ライン 平成 27 年 12 月 23 日（水）～平成 28 年 2 月 15 日（月）の毎日、55 日間</p>
<p>(4) 運行便数</p>	<p>ブルーライン：4 便、レッドライン：4 便、グリーンライン：2 往復 大町ライン：1 往復、小谷ライン：2 往復</p>
<p>(5) 運行時間 ※資料集 P. 3, 5, 7 ※資料集 P. 9, 11</p>	<p>■ブルーライン、レッドライン、グリーンライン 18:00～23:08</p> <p>■大町ライン、小谷ライン 17:15～23:10</p>
<p>(6) 利用方法</p>	<p>■ブルーライン・レッドライン・グリーンライン・小谷ライン 現金による支払で乗車する方法、回数券を購入して乗車する方法</p> <p>■大町ライン 現金による支払で乗車する方法</p>

#### 4. 運賃の設定

項目	運行計画の策定方針
(1) 運賃	<p>■ブルーライン・レッドライン・グリーンライン・小谷ライン 300 円（大人・小児一律 1 回）、未就学児童（6 歳未満）無料</p> <p>■大町ライン 500 円（大人・小児一律 1 回）、未就学児童（6 歳未満）無料</p>

5. 車両・設備

項 目	運行計画の策定方針
(1)車 両 数	常備車両：5台、予備車両：1台
(2)車両の仕様	小型のバス（中型自動車マイクロバス）
(3)車両の装飾 ※資料集P.	マグネットシート：大2枚、小2枚 電光板：2台（枚）

### Ⅲ. 運行内容の比較

#### 1. ブルーライン、レッドライン、グリーンライン（村内シャトル）

項目	2014-15（平成26年度）	2015-16（平成27年度）	変更点
運行期間	H26.12.20-H27.2.28（71日間）	H27.12.23-H28.2.29（69日間）	減少（2日）
停留所	ハイマウントホテル外 24 停留所	ハイマウントホテル外 28 停留所	①農かふえ、白馬岩岳（新田）、白馬岩岳（切久保）を新設 ②アップルランド前、セブンイレブン白馬岩岳を再開 ③Hakuba47 入口を休止
運行時間	ブルーライン 18:00-22:38 4 便	ブルーライン 18:00-22:38 4 便	変更なし
運行便数	レッドライン 18:30-23:08 4 便	レッドライン 18:30-23:08 4 便	変更なし
	グリーンライン 18:00-21:38 2 往復	グリーンライン 18:00-22:41 2 往復	・始点を飯森ゲレンデ下、終点を農かふえとし、北部エリア（新田・切久保）を運行ルートに含める ・Hakuba47 入口～飯森ゲレンデ下を休止 ・セブンイレブンみそら野～農かふえ、JR 白馬駅～アップルランド前～セブンイレブン白馬岩岳～白馬岩岳（新田）～白馬岩岳（切久保）～白馬八方バスターミナルを再開
利用料	300 円（大人・小児一律 1 回） 未就学児童（6 歳未満）無料	300 円（大人・小児一律 1 回） 未就学児童（6 歳未満）無料	変更なし
回数券	1,000 円（4 枚綴り）	1,000 円（4 枚綴り）	変更なし
利用方法	現金乗車方法及び回数券購入乗車方法の併用	現金乗車方法及び回数券購入乗車方法の併用	変更なし
車両装飾	マグネットシート：大 2 枚、小 2 枚 電光板：2 台（枚）	マグネットシート：大 2 枚、小 2 枚 電光板：2 台（枚）	変更なし
その他	・チラシ及び停留所看板に村内タクシー会社の社名及び電話番号を表記 ・スポンサー広告枠の設定	・チラシ及び停留所看板に村内タクシー会社の社名及び電話番号を表記 ・スポンサー広告枠の設定	変更なし



## 2. 大町ライン

項目	2015-16（平成27年度）	説明
運行期間	H27.12.23-H28.2.15（55日間）	
停留所	白馬八方バスターミナル外6停留所	①JR信濃大町駅、大町市街A、B、Cを新設
運行時間 運行便数	18:20-22:15 2往復	・白馬八方バスターミナルとJR信濃大町駅を結ぶラインを新設 ・JR神城駅～JR信濃大町駅を追加 ・停留所は、白馬八方バスターミナル、JR白馬駅、JR神城駅、大町市街A、B、C、JR信濃大町駅
利用料	500円（大人・小児一律1回） 未就学児童（6歳未満）無料	・JR運賃（JR白馬駅～JR信濃大町駅、500円）を参考
回数券	設定しない	
利用方法	現金乗車方法のみ	
車両装飾	マグネットシート：大2枚、小2枚 電光板：2台（枚）	・村内シャトルと共通
その他	・チラシ及び停留所看板に村内タクシー会社の社名及び電話番号を表記 ・スピーカー広告枠の設定	・村内シャトルと共通

## 3. 小谷ライン

項目	2015-16（平成27年度）	説明
運行期間	H27.12.23-H28.2.15（55日間）	
停留所	白馬八方バスターミナル外14停留所	①白馬岩岳（新田）、白馬岩岳（切久保）、シェラポート白馬、落倉、梅池高原、白馬アルプスホテル、里見、白馬コルナを新設 ②アップルランド前、セブンイレブン白馬岩岳を再開
運行時間 運行便数	17:15-23:10 2往復	・白馬コルナとエコーランド大通りを結ぶラインを新設 ・白馬岩岳（切久保）～白馬コルナを追加 ・停留所は、セブンイレブン白馬岩岳、白馬岩岳（新田）、白馬岩岳（切久保）、シェラポート白馬、落倉、梅池高原、白馬アルプスホテル、里見、白馬コルナ
利用料	300円（大人・小児一律1回） 未就学児童（6歳未満）無料	
回数券	1,000円（4枚綴り）	・村内シャトルと共通
利用方法	現金乗車方法及び回数券購入乗車方法の併用	
車両装飾	マグネットシート：大2枚、小2枚 電光板：2台（枚）	・村内シャトルと共通
その他	・チラシ及び停留所看板に村内タクシー会社の社名及び電話番号を表記 ・スピーカー広告枠の設定	・村内シャトルと共通

#### IV. 利用促進計画（案）

##### 1. 県内での情報発信

(1)チラシによる周知

(2)ホームページにおける周知

(3)旅行会社への情報発信

(4)新聞折り込みによる周知

(5)ケーブルテレビによる周知

##### 2. 県外への情報発信

(1)県内メディアへのプレスリリース

(2)長野県観光情報センターにおける定例記者会見及びメディアへのプレスリリース

##### 3. その他

(1)ウィンターシーズンイベントにおける周知

(2)公式ガイドブックへの掲載

V. ナイトシャトルバス「元気号」運行収支（案）／村内シャトル（村一般会計）

（支出）

← 実績 | 計画 →

（単位：円）

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	前年度比	備考
1. バス運行経費	7,938,000	8,741,520	8,942,400	200,880	
日数	70	71	69	△ 2	H27.12.23-H28.02.29
単価					
レッドライン	37,800	41,040	43,200		
ブルーライン	37,800	41,040	43,200		
グリーンライン	37,800	41,040	43,200		
費用					
レッドライン	2,646,000	2,913,840	2,980,800		
ブルーライン	2,646,000	2,913,840	2,980,800		
グリーンライン	2,646,000	2,913,840	2,980,800		
2. 時刻表作り作成費	194,250	199,800	291,600	91,800	ポケットマップ、20,000枚
3. バスチケット作成費	0	145,800	145,800	0	1,000部
4. バス停看板作成費	66,150	105,840	90,720	△ 15,120	時刻表パネル×4 バス停番号×8
5. バスガイドシート作成費	371,700	0	0	0	
6. バス停時刻表変更	0	0	56,700	56,700	21/28
7. バスチケット販売所表示シート作成費	0	0	0	0	
8. 諸経費	21,010	23,446	15,780	△ 7,666	
計	8,591,110	9,216,406	9,543,000	326,594	

（収入）

（単位：円）

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	前年度比	備考
（利用者数）	9,511	12,897	12,000	△ 897	
1. 運賃収入	2,853,300	3,705,300	3,600,000	△ 105,300	運賃単価：300円
レッドライン	900,000	1,407,900			
ブルーライン	1,190,100	1,759,200			
グリーンライン	763,200	538,200			
2. チケット販売収入	0	169,000	100,000	△ 69,000	
3. 広告収入	157,500	162,000	162,000	0	時刻表作り 1社
計	3,010,800	4,036,300	3,862,000	△ 174,300	

（差引）

（単位：円）

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	前年度比	備考
1. 支出	8,591,110	9,216,406	9,543,000	625,296	
2. 収入	3,010,800	4,036,300	3,862,000	1,025,500	
差引	5,580,310	5,180,106	5,681,000	△ 400,204	

V. ナイトシャトルバス「元気号」運行収支（案）／大町ライン、小谷ライン（北アルプス三市村観光連絡会会計）

（支出）

（単位：円）

		平成26年度	平成27年度	前年度比	備考
1. バス運行経費			4,752,000	4,752,000	
日数			55	55	H27.12.23-H28.02.15
単 価	大町ライン		43,200		
	小谷ライン		43,200		
費 用	大町ライン		2,376,000		
	小谷ライン		2,376,000		
2. 時刻表作成費			87,480	87,480	ホケツタブル、6,000枚
3. バスチケット作成費			0	0	
4. バス停看板作成費			184,464	184,464	時刻表ハ゜札×6 バス停番号×6 停留所一式×1
5. バスグッズ作成費			680,400	680,400	大・小×2枚×5台
6. バス停時刻表変更			18,900	18,900	7/28
7. バスチケット販売所表示シート作成費			0	0	
8. 諸経費			6,756	6,756	
計			5,730,000	5,730,000	

（収入）

（単位：円）

		平成27年度	前年度比	備考
（利用者数）		2,000	2,000	
1. 運賃収入		730,000	730,000	
	大町ライン			運賃単価：500円
	小谷ライン			運賃単価：300円
2. チケット販売収入		0	0	
3. 広告収入		0	0	
計		730,000	730,000	

（差引）

（単位：円）

		平成27年度	前年度比	備考
1. 支出		5,730,000	0	
2. 収入		730,000	0	
差引		5,000,000	0	